



木造校舎の杉並第一小学校(写真は昭和7年頃)

杉並区には、現在小中学校合わせて63校あります。木造校舎による戦災復興、昭和30～40年代のRC造校舎の建設、耐震補強や老朽校舎改築の時期にあり、今日ではDXによる新しい時代の到来に対し、未来の学びを実現する学校施設づくりが大きな課題となっています。一方、児童生徒数の減少や公共施設マネジメントに対して、施設の複合化が求められます。学校づくりはまちづくり。学校は、子供たちの教育の場というだけでなく地域コミュニティや防災まちづくりの中心施設です。地域ぐるみで子どもを育てる環境づくりも重要です。参画による全国の学校づくりの好事例の紹介をもとに、子どもの未来を創り、学校と地域との関係をみんなで考える機会としたいと、本講演会を企画しました。

学校と地域がつくる学びの未来
 よりよい学校施設づくりをめざして

平成・令和時代の学校 陸前高田市立気仙小学校
 設計:綾井・土屋・IEE設計JV / 施行:(株)佐武建設 / 平成31年竣工



開催日時：2023年1月28日(土) 14時30分～17時

会場：阿佐谷地域区民センター 第1、2、3集会室

主催:杉並建築会 後援:杉並区

学校と地域がつくる学びの未来

～よりよい学校施設づくりをめざして～

「よりよい学校施設づくりをめざして」をテーマに3回連続講座(東京建築士会杉並支部)を行なってきました。

第1回 エコスクール 10年に学ぶ省エネルギーと学校室内環境

第2回 企画設計プロセスの大切さについて考える

第3回 これからの学校建築-日本、オランダ、フィンランド、スウェーデンを横断して

今回は、学校計画に長くかかわってこられた、長澤悟先生をお招きし、学校が地域とともにどのような関係をつくっていくかについて、事例紹介を交えてお話していただきます。

日時：2023年1月28日(土)14時30分～17時
一般参加者大歓迎 資料代：1,000円

企画、担当：東京建築士会 杉並支部

① 講演会 14:30～17:00

テーマ：「未来の学びを実現する共創の学校づくり」

内容：未来の学びと施設環境／地域の核となる学校／木材の活用／参画プロセス

講師：長澤 悟 (東洋大学名誉教授)

司会：大倉靖彦 (東京建築士会 杉並支部長)

会場：阿佐谷地域区民センター 第1、2、3集会室
阿佐ヶ谷北1-1-1 電話03-5356-9501



講師プロフィール

1948年、神奈川県生まれ
東洋大学名誉教授、教育環境研究所所長、国立教育政策研究所客員研究員、木と建築で創造する共生社会実践研究会(A-WASS)会長
東京大学工学部建築学科卒業、同大学院博士課程修了、工学博士



専門は建築計画学。特に学校施設計画について教育と施設、学校と地域、学校の安全、木材の活用等をテーマに研究を行なうと共に、全国で教職員・保護者・地域住民と話し合いを重ねる参加の計画プロセスによる学校づくりに取り組んでいる。

文部科学省の新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方に関する調査研究部会長、東日本大震災の被害を踏まえた学校施設整備に関する検討会・熊本地震の被害を踏まえた学校施設の整備に関する検討会の座長を務める。

著書に「やればできる学校革命」(日本評論社) 「スクール・リボリューションー個性を育む学校」(彰国社) 「新しい学校づくり、はじめました」(flick studio) 他

② 懇親会 17:30～19:30

参加申込：一般参加歓迎です。メールまたはFAXにて必要事項をご記入の上お申し込みください。
二次元コードからも申し込みができます。

- | | | |
|---------------------|-----------|-------|
| 1) 氏名 | 2) 電話番号 | 3) 所属 |
| 4) 所属団体 | | |
| 5) 参加範囲 (講演会 懇親会) | ○をつけてください | |
| 6) その他連絡事項 | | |



FAX 03-3316-4939
杉並建築会 事務局 (計画工房・村上)
E-mail 杉並建築会メールアドレス
sugi_kenchiku@kkoubou.sakura.ne.jp

お問い合わせ：
03-3313-5585
杉並建築会 事務局(計画工房・村上)